

## ドイツに合併会社を設立し開所式が催されました

2014年4月に、ドイツのIntelligente Sensortechnik Dresden GmbH (通称:i2s)との共同出資により、圧力センサの製造を行う合併会社 JADE Sensortechnik GmbHをドイツのドレスデン市に設立し、稼働に向けた準備を進めて参りました。そして2015年3月、ドレスデン市があるザクセン州のスタニスラフ・ティリツヒ首相をはじめ、州政府関係各位、主要取引先が訪れる中、開所式が盛大に行われました。各位から祝辞とともにJADEを通じた当社の発展に大きな期待が寄せられ、州政府からは全面的な支援を表明していただきました。

Japan(日本)のJA, Deutschland(ドイツ)のDEを組み合わせた社名“JADE”は翡翠(ヒスイ)の意味もあり、その宝石言葉の「飛躍」、「融合」のとおり“日独の先進的な製造技術を融合し、社業の一層の飛躍を図る”ことへの願いを込めて命名しました。ドイツは第4の産業革命「インダストリー4.0」を強力に推進しています。その追い風の中、全自動での高効率生産方式を取り入れ、新興国で主流である半自動での生産を凌ぐ製品コスト、高品質を実現していく計画です。グローバルレベルでの業界品質ナンバー1を目指し、会社のサブタイトルを“THE HIGH-Q SENSORFAB” (高品質センサ工場)としました。



**SENSORTECHNIK**  
THE HIGH-Q SENSORFAB

JADEは、今後7月に第1号の自動生産設備を導入し、8月から量産オペレーションを開始する予定で準備の大詰めを迎えています。ドイツの大手自動車メーカー向けのエアコン用圧力センサ生産からスタートし、エンジン油圧用、ブレーキ用、建設機械向け等、順次拡大をしていく計画です。

当社の車載事業は欧州に顧客が多く、その為に対ユーロの為替変動によるリスク対策(ヘッジ)も急務でしたが、この生産拠点活用により為替リスクは大幅に軽減できると期待しています。



JADE Sensortechnik ,GmbH社屋



開所式でのスピーチの様子(当社社長 依田)





スタニスラフ・ティリツヒ ザクセン州首相の祝辞の様子



開所式の様子